

A 基礎

練習の答えと考え方

問1

答え おんこちしん

解説 昔の事柄を学び、新しい知識や考えにつなげる。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問2

答え 臨機応変

解説 その場の状況に合わせ、適切に方法を変えている。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問3

答え イ

解説 一つの取組で「清掃」と「堆肥の利用」という二つの利益を得ている。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問4

答え 転

解説 起・承・転・結の四つの段階を表す。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

A 基礎

練習の答えと考え方

問5

答え ウ

解説 小さな違いはあるが、大筋では共通している。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問6

答え 自分が問い、自分が答えている。

解説 相手との問答ではなく、一人の内面で問いと答えを重ねる。

別解・許容 同じ人が自分に問いかけ、自分で答えている。

確認 問いの主体と答えの主体が、どちらも自分であることを示せば正解。

問7

答え 四面楚歌

解説 周囲が皆敵対し、孤立している状況を表す。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問8

答え 起死回生

解説 「生」は生き返る意。絶望的な状況から立ち直ることを表す。

確認 「正」を「生」に直し、四字全体が正しければ正解。

B 標準

練習の答えと考え方

問9

答え ア。試して失敗の原因を確かめ、方法を改めているから。

解説 試行錯誤は、試行と修正を重ねて解決を探すこと。

確認 アを選び、試すことと結果に応じた修正の両方を理由に含めれば正解。

問10

答え 徒歩には道が短い長所と暗い短所があり、バスには道が明るい長所と遠回りになる短所があること。

解説 一方が全面的に優れ、他方が全面的に劣るという意味ではない。

別解・許容 徒歩は近いが暗く、バスは明るいが遠いため、それぞれにより点と不十分な点があること。

確認 どちらにも長所と短所があることを述べ、徒歩の長さ・暗さと、バスの明るさ・遠回りを具体的に対応させれば正解。

問11

答え あくせんくとう

解説 不利な状況や困難の中で、苦労しながら努力すること。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問12

答え 互いに助言し合い、その刺激を受けて力を高めているから。

解説 相手を負かすことだけでなく、互いに向上する点が重要。

確認 相互の働きかけと、能力の向上の二点を含めれば正解。

B 標準

練習の答えと考え方

問13

答え 本来大切な調査よりも、付け足しである飾り付けを優先しているから。

解説 重要な目的と、それを助ける手段の優先順位が逆になっている。

確認 「本来」を用い、調査が中心で飾り付けが付随するものだという逆転を説明できれば正解。

問14

答え 初志貫徹

解説 最初に決めた志を最後まで貫いている。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問15

答え ①日進月歩 ②一進一退

解説 日進月歩は絶え間ない進歩、一進一退は進展と後退の繰返し。

確認 ①②の両方が正しければ正解。練習の見直しでは各組合せを別々に確かめる。

問16

答え 公明正大

解説 私情を挟まず公平で、隠し事がない態度を表す。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問17

答え A案は臨機応変、B案は朝令暮改。前者は状況に合う適切な変更で、後者は方針がすぐ変わり一定しないことだ。

解説 変更したという共通点より、必要性和方針の安定性を読み分ける。

確認 二つの対応が正しく、適切な対応と頻繁で不安定な変更の違いを示せば正解。

問18

答え 小さな誤りを、資料全体が使えないほどの大きな問題として言い立てているから。

解説 針ほどの小さいことを棒ほど大きく言う、というたとえ。

確認 実際は一か所の誤植であることと、それを過大に表現したことを結べば正解。

問19

答え エ

解説 晴れた日は畑を耕し、雨の日は読書をするような、落ち着いた暮らしをいう。

確認 指定どおりの答えを正しく書ければ正解。

問20

答え ①自画自賛 ②自暴自棄

解説 自画自賛は自分で自分をほめること、自暴自棄は自分を大切にせず投げやりになること。

確認 ①②を正しく対応させれば正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問21

答え 他の人がいないかのように、周囲を気にせず勝手に振る舞う態度。

解説 「傍らに人無きが若し」という形から、他人を無視した振る舞いを表す。

確認 周囲の人への配慮がなく、自分勝手に行動する意味が伝われば正解。

問22

答え 単刀直入

解説 遠回しな言い方をせず、すぐに本題に入ること。

確認 指定とおりの答えを正しく書ければ正解。

問23

答え 若いころは認められなかったが、研究を続けて六十歳で大きな発見をした叔父は、大器晩成の研究者だ。

解説 単に年齢が高いだけでなく、後になって大きな力や成果が表れる場面にする。

確認 「大器晩成」を使い、早い時期には成果が出なくても努力を続け、後に大きな成果を得たことが一文で分かれば正解。模範文と異なる人物・分野も可。

問24

答え 意味：すっかり消えてなくなること。きっかけ：記録の公開により、数字の食い違いが説明されたこと。

解説 雲や霧が散るように、疑いや不安などが消えるたとえ。

確認 完全に消える意味と、記録公開によって食い違いが説明された事実の両方を書けば正解。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問25〔10点〕

答え でんこうせっか

解説 電光や火花のように、動作などが非常に素早いことを表す。

採点 「でんこうせっか」と正しく書ければ10点。部分点なし。

問26〔10点〕

答え 異口同音

解説 口にする人は異なるが、内容は同じという意味。

採点 「異口同音」の四字が正しければ10点。部分点なし。

問27〔10点〕

答え ウ

解説 話の筋道やまとまりがなく、つながりが失われている。

採点 ウなら10点。他の記号は0点。

問28〔10点〕

答え 一喜一憂

解説 変化があるたび、喜びと心配の間で気持ちが揺れている。

採点 「一喜一憂」の四字が正しければ10点。部分点なし。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問29〔15点〕

答え イ。うまくいくと信じたい気持ちと、確かかどうかが疑う気持ちが共にあるから。

解説 半信半疑は、信頼と疑いが入り交じること。割合が厳密に半分ずつである必要はない。

採点 イの選択5点。期待・信頼を示す説明5点、真偽を疑う説明5点。

問30〔15点〕

答え 人によって、作品の受け止め方や感じ方が異なっているから。

解説 十人十色は、人ごとに考えや好みなどが違うことを表す。実際の人数が十人である必要はない。

採点 人ごとの違いを示すこと5点＋本文の読後の感じ方の違いに対応させること10点、計15点。

問31〔15点〕

答え 有言実行。自分で言った約束を、実際の行動で果たしたから。

解説 言葉で示したことと、その後の実行が対応している。

採点 有言実行の選択5点。先に約束を述べたこと5点、その内容を実際に果たしたこと5点。

問32〔15点〕

答え 疑う気持ちが強くなり、席を外すという普通の行動まで、隠し事をしている証拠のよう
に受け取っている。

解説 疑いのために、何でもなし事まで恐れったり疑わしく思ったりする。相手が実際に隠し事をしたとは本文から言えない。

採点 疑う気持ちがあること5点。席を外すという普通の行動にも疑いを広げたこと5点。隠し事の根拠がないのに疑わしく解釈したこと5点。